

2023年度環境経営レポート

対象期間：2023年4月～2024年3月



株式会社甲信マツダ

2024年8月3日発行

1-1. 組織の概要

(1) 事業社名及び代表者

株式会社甲信マツダ
代表取締役 的場 智英

(2) 所在地

長野県長野市中御所1丁目27番22号

(3) 事業内容

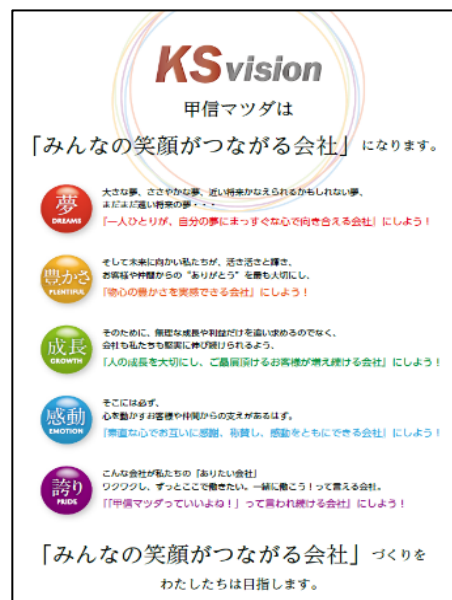
MAZDAブランドの乗用車・商用車の新車販売
各種中古自動車販売
車検・点検等の自動車整備業
自動車用品・部品販売
損害保険代理店業 他

(4) 事業規模

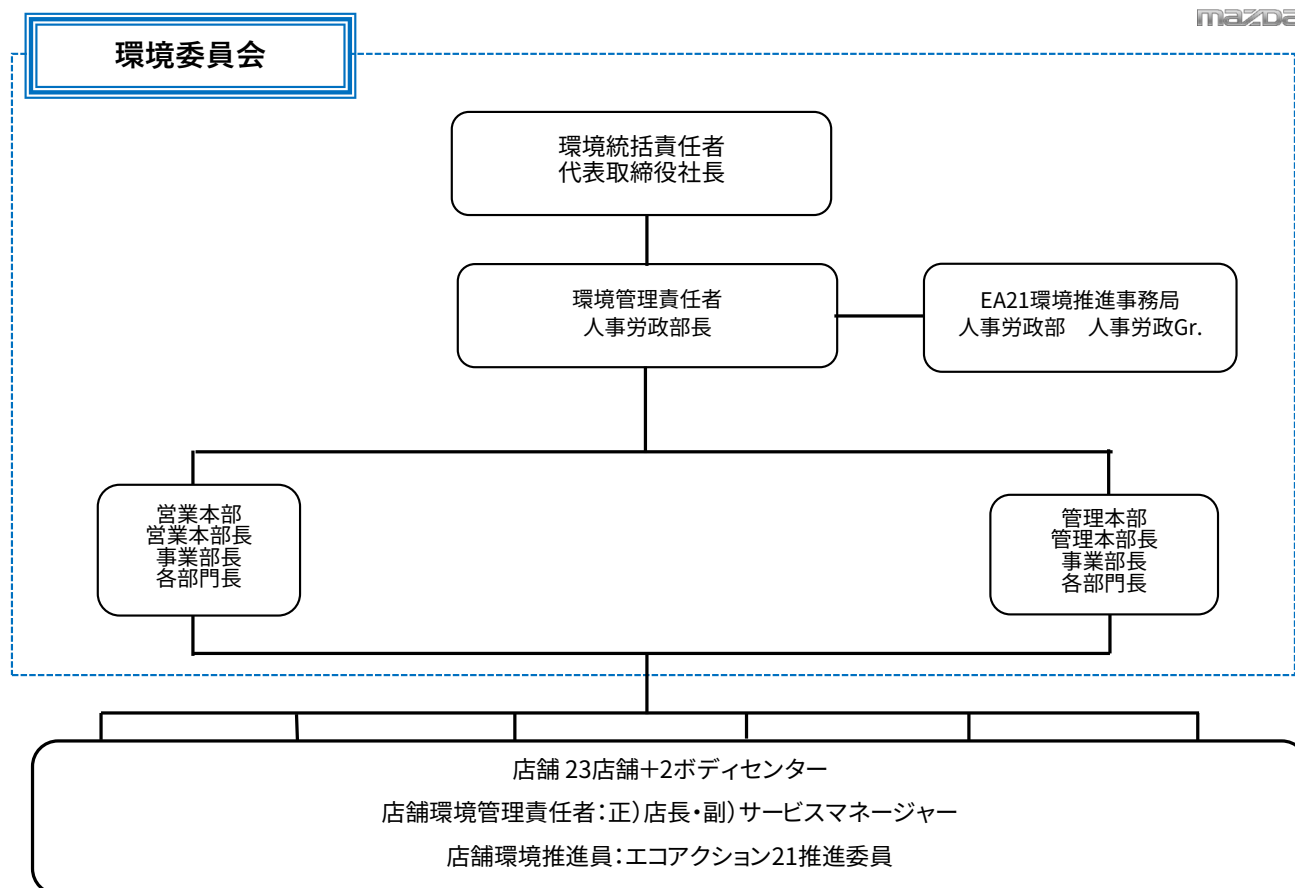
店舗数	長野県:18店舗 山梨県:5店舗 板金塗装工場:2拠点
従業員数	514名
年間売上高	211億円

(5) 環境管理責任者及び担当者

環境管理責任者	人事労政部	部長	村松 淳
EA21推進事務局	人事労政部	人事労政グループリーダー	田村 晃
	人事労政部	人事労政グループ	係長 山崎 友加里
	人事労政部	人事労政グループ	堤 梨乃



1-2.環境組織体制



環境統括責任者 ＜代表者・社長＞	・環境マネジメントシステム(以下EMS)に関する統括責任者 ・EMSの実施及び運用に必要な人・設備・費用・時間を用意 ・環境管理責任者の任命 ・環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境目標の設定を承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・環境活動レポートの承認
環境管理責任者	・実務上の責任者として、環境取り組みを推進 ※代表者は、環境活動の実務に関して全部門に対する指揮命令権限を委譲 ・EMSの構築、実施、管理 ・環境活動計画書、環境関連法令取りまとめリスト等の承認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境活動レポートの確認
業務標準・コンプライアンス推進室	・環境管理責任者をサポートし、環境取り組みを推進 ・店舗の環境取り組みの指導 ・内部環境監査の実施
EA21推進事務局	・環境管理責任者をサポートし、EA21推進事務局として環境取り組みを推進 ・店舗の環境取り組みの指導、支援 ・環境データの集計、取りまとめ ・全社環境委員会の事務局
事業部長 部門長	・全社環境委員会のメンバーとして、全社の環境取り組みを推進 ・担当部門の環境取り組みの責任者
店舗環境管理責任者 ＜正：店長、 副：サービスMgr＞	・店長：店舗の環境取り組み全体の責任者として、店舗環境取組の推進、管理 ・サービスMgr：MECA21を中心にサービス領域の環境取り組みに責任を持つとともに 店舗全体の環境取り組みにおいて店長をサポートする
店舗環境推進委員	・店長とともに店舗全体の環境取組において取りまとめを行い、環境推進事務局に報告する ・環境推進事務局からの連絡を店舗に伝達する ・環境推進委員会(研修会)に出席し、環境関連法規及び市町条例のチェックと内部環境監査実施

2. 対象範囲

拠点名	住所	電話番号
本社	〒380-0935 長野市中御所1丁目27番22号	026-226-0294
長野県 18店舗		
長野本店	〒380-0935 長野市中御所1丁目27番22号	026-226-0399
長野本店ユーカーランド	〒380-0935 長野市中御所5丁目1番23号	026-227-3185
中野店	〒383-0015 中野市大字吉田字七瀬境67番地5	0269-26-6411
古牧店	〒381-0034 長野市大字高田五分一沖674番地3	026-227-0313
篠ノ井店	〒388-8008 長野市合戦場2丁目100番地	026-292-1471
更埴店	〒387-0007 千曲市大字屋代字中田島2360番地21	026-272-1097
上田店	〒386-0015 上田市常入1丁目55号	0268-25-0045
小諸店	〒384-0803 小諸市丙字水押400番地1	0267-22-1382
佐久平店	〒385-0022 佐久市岩村田1753番地1	0267-67-3340
佐久南店	〒384-0301 佐久市臼田1392番地1	0267-77-7734
松本店	〒390-0863 松本市白板2丁目3番50号	0263-33-6336
南松本店	〒399-0005 松本市野溝木工1丁目2番2号	0263-25-6490
大町店	〒398-0003 大町市社字松崎5887番地1	0261-22-1939
穂高店	〒399-8303 安曇野市穂高1822番地1	0263-82-5516
諏訪店	〒392-0013 諏訪市沖田町3丁目84番地	0266-53-2141
岡谷店	〒394-0081 岡谷市長地権現町2丁目7番30号	0266-28-6533
伊那店	〒396-0022 伊那市御園77番地1	0265-72-8766
飯田インター店	〒395-0002 飯田市鼎一色179番	0265-22-5855
山梨県 5店舗		
美術館前店	〒400-0065 甲府市貢川1丁目2番15号	055-224-5117
国母店	〒400-0043 甲府市国母8丁目12番39号	055-222-5311
昭和店	〒409-3852 中巨摩郡昭和町飯喰1285	055-275-0577
富士吉田店	〒403-0004 富士吉田市下吉田7丁目27番40号	0555-24-9711
バイパス小瀬店	〒400-0851 甲府市住吉5丁目2番14号	055-223-7778
板金塗装工場 2拠点		
ボディセンター長野	〒381-0022 長野市大豆島5910番地	026-222-5123
ボディセンター松本	〒390-0863 松本市白板2丁目3番50号	0263-34-4193

環 境 経 営 方 針

基本理念

株式会社 甲信マツダは自動車販売、整備など全ての事業活動を通じて継続的に環境への負荷の軽減に取り組み、地域環境の保護に努めながら豊かな循環型社会づくりに貢献します。

環境保全に向けての活動指針

1. 環境改善目標を定め、継続的な環境活動を実施します。
2. 事業活動に適用される環境関連法規及び、当社が同意する要求事項を理解し遵守します。
3. 地球温暖化防止に向けた二酸化炭素排出量削減や省エネルギーに取り組みます。
4. 限りある資源を守るため、水の使用量削減及び廃棄物排出量の削減に取り組みます。
5. 対象化学物質を維持管理し、使用量を把握します。
6. グリーン購入の促進に努め、環境に配慮した製品の販売に努めます。
7. 環境に関する地域社会の要請に積極的に応え、企業活動に反映させます。
8. 全従業員にこの環境方針を周知徹底するとともに、環境活動レポートを作成し、公表します。
9. SDGs達成に向けた方針及び取組を別途定め、上記活動指針と合わせて推進に努めます。

制定日 平成20年8月1日

改定日

平成21年4月1日
平成22年9月1日
平成25年4月1日
平成28年4月1日
平成28年11月1日
平成31年4月1日
令和3年4月1日

株式会社 甲信マツダ
代表取締役社長

的場 智英



3 - 2. SDGs達成に向けた宣言書

(様式第2号)

SDGs 達成に向けた宣言書 (要件1)

2019 年 9 月 28 日

住 所 長野市中御所 1 丁目 27 番 22 号

企業名 株式会社 甲信マツダ

当社は、SDGs の内容を理解し、SDGs 達成に向けた方針及び取組を下記のとおり宣言します。

記

SDGs 達成に向けた経営方針等

株式会社 甲信マツダは、「みんなの笑顔がつながる会社」づくりを目指します。
自動車販売・整備などの全ての事業活動を通じて継続的に環境への負荷の軽減に取り組み、地域環境の保護に努めながら豊かな循環型社会づくりに貢献し、すべてのお客様に安全と快適をお届けします。

3 側面 (主な分野に○)	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標	重点的な取組及び 指標の進捗状況 登録年月日:
環境 社会 経済	全社において排出される二酸化炭素 (CO2) の排出量削減	CO2 排出量 11%削減 (2019 年より毎年 1%削減)	全社のエネルギー使用量を削減する。電気使用量の管理、照明不要時の消灯、アースアワーへの参加、待機電源 OFF、エコドライブの推進、水資源の使用量削減など。
環境 社会 経済	環境対応車両の販売促進	クリーンディーゼル車及び内燃機関+電動化技術搭載車販売構成比 2030 年 50%以上	環境性能を高い次元で両立させた最新のマツダ車にお得に乗り換えていただく、新しいクルマの買い方のご提案を通じて、地球環境を守り、安心・安全なクルマ社会を実現する。
環境 社会 経済	働き方改革の推進	年間休日 120 日の実現	共通の価値観のもと、チームワークを大切に業務に取り組み、効率よく安心して働ける仕組みと風土を築く。

【記載留意点】

- ・上記については「SDGs 達成に向けた経営方針等」を記載いただくとともに、(様式第3号)「SDGs 達成に向けた具体的な取組」(要件2)に記載いただいた取組を踏まえ、「SDGs 達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は、原則として数値目標を記載してください。
- ・「環境」、「社会」、「経済」の3側面の全てについて重点的な取組を記載してください。なお取組が複数の分野にまたがる場合は、それぞれの分野に「○」をしてください。
- ・重点的な取組及び指標の進捗状況については、新規登録時は記入不要です。
- ・重点的な取組及び指標の進捗状況については、年1回以上進捗管理を行い、状況を記載してください。

4. 環境経営目標

(1) 環境負荷の目標

項目	単位	2019年度 実績	2023年度 目標	2024年度 目標	2025年度 目標
二酸化炭素排出量	kg-CO2	2,498,297	2,448,581	2,424,095	2,399,854
電力使用量	kWh	2,885,699	2,828,274	2,799,991	2,771,991
化石燃料 使用量	ガソリン	L	203,409	199,361	195,394
	軽油	L	204,637	200,565	196,573
	LPガス	m ³	15,679	15,367	15,061
産廃物排出量	t	1,172	1,149	1,137	1,126
水使用量	m ³	17,277	16,933	16,764	16,596

※目標値はコロナ禍前の2019年度を基準年度とし、前年度対比毎年1%削減とする

項目	2019年度 実績	2023年度 目標	2024年度 目標	2025年度 目標
エコカー販売台数構成比 ※1	90.40%	92%	93%	94%
点検整備入庫台数 ※2	42,537	43,392	43,826	44,264

※目標値はコロナ禍前の2019年度を基準年度とし、前年度対比1%増加とする

※1 SKYACTIV販売構成比

※2 MSC(6ヶ月点検)、12ヶ月点検



5. 環境経営計画



(1) 本社

■ 営業推進部

- ・ 代替え期間の短縮促進による、安心安全と環境性能の高い車両の提案促進
- ・ 下取車のリサイクルセンターでの適正な処理及び良質な中古車の提案促進
- ・ 顧客の保有体験、カスタマーケアの充実
- ・ オートザム等、販売会社との協力体制強化
- ・ 任意保険手続きのペーパーレス化による紙資源削減、及び業務の効率化
- ・ 環境配慮型のノベルティの作成・提供
- ・ 車輜注文書のWEB化によるペーパーレス及び工数削減取組(Meets)



■ サービス部

- ・ 車検・定期点検を適正タイミングで実施
- ・ 整備入庫の平準化促進
- ・ 在庫部品の適正管理
- ・ サービスパック商品(パックdeメンテ)の提案
- ・ エコオイルの利用促進
- ・ リビルトパーツの活用促進
- ・ エコタイヤの販売促進
- ・ 新車検手順による整備品質向上と効率改善により、お客様への安心、安全の提供



■ 営業業務部

- ・ 車両登録業務の平準化促進
- ・ OSS申請を利用し紙資源削減、及び業務の効率化促進
- ・ 契約工程管理導入による業務の効率化促進



■ 管理本部

- ・ 残業時間の適正管理
- ・ 申請業務の電子申請化による紙資源削減、及び業務の効率化
- ・ 店舗や設備、機器類の調査、計画的な改修・修繕
- ・ 健康スクリーニングの実施、人間ドック補助制度の活用で社員の健康促進
- ・ 安全衛生委員会の実施、社員への展開
- ・ 高齢者、障害者の雇用制度や、女性管理職の登用を推進
- ・ 時短勤務やフレックス制度を活用し、各自に合った働き方の提案、サポート
- ・ 『裾花川河川敷清美・運動場・広場整備プロジェクト』への継続参加
- ・ 消防訓練等、災害に備えた体制作り
- ・ 紙媒体業務のweb化による紙資源削減、及びシステム化による業務効率改善
- ・ **キャッシュレス推進による工数及び事故リスク削減取組**
- ・ **電子帳簿法対応・推進によるペーパーレス、工数削減取組**



(2) 店舗・全社

対象	対策		場所・対応方法 など
電気	1	使用量の管理	請求書による使用量及び料金推移の把握
	2	照明不要時・不要部分消灯 (昼休みなど)	ショールーム、工場、事務所、トイレ、会議室、更衣室 など
	3	エアコン設定温度・風量の管理	ショールーム、事務所、休憩室(設定温度 夏:28℃、冬:20℃)
	4	エアコンフィルターの清掃	ショールーム、事務所のクリーンUPデーによる清掃
	5	エアコン風の効率的・限定的な使用	扇風機やファン等との併用、場所、時間等を限定して使用
	6	ブラインド、カーテン等の活用	熱の出入りの調節用
	7	待機電源OFFの管理	パソコンの使用可能時間帯の設定(起動8:00～、シャットダウン20:00)、本社フロア端末における待機電源OFF、事務所(プリンタ、電気ポット等)、工場(コンプレッサ、プリンタ等)、ショールーム
	8	LED照明・エアコンの省エネルギー機の導入	リニューアル店舗・改修工事時に随時導入
	9	メジャーサイン点灯時間の管理	タイマーによる季節に応じた点灯時間の管理
	10	クールビズ推進	5月～9月までクールビズの推進
ガソリン・軽油	11	エコドライブの実践	朝礼時等定期的な呼びかけ、セーフティドライブ推進
	12	社用車の管理	タイヤ空気圧のチェック、定期点検、不要積載物の撤去
	13	代車の満タン返却	ツールによるお客様への呼びかけ、請求書の確認
	14	使用量の管理	検針票、請求書による使用量及び料金推移の把握
水道	15	日常的な節水の励行	手洗い、洗い物、洗車、洗車代替商品提案等
	16	洗車時ストップノズルの活用	継続して活用中
	17	漏水のチェック	蛇口、ホース、メーター、洗車機。異常発見時は即対応する
	18	使用量の管理	検針票、請求書による使用量及び料金推移の把握
ガス・灯油	19	使用量の管理	検針票、請求書による使用量及び料金推移の把握
廃棄物削減	20	マニフェストの管理による排出量の把握	業務担当者及びエコアクション推進担当者による適正管理
	21	廃棄物分別の徹底	分別早見表により徹底
	22	油水分離槽、浄化槽の点検実施	使用状況に応じた点検と清掃実施。水質検査の実施
その他	23	ファックス誤送信の徹底、個人情報等のファックス送信件数の削減による紙資源削減	
	24	エコキャップ・クリアホルダーの回収	
	25	インターンシップ、職場体験学習の受入	
	26	地域の清掃活動への参加	
	27	緊急事態訓練(オイル流失・消防)	
	28	SDGsへの参加、取り組み	
	29	健康経営優良法人認定(社員の健康維持増進)	

6.環境経営目標、及び計画の取組結果

(1) 環境負荷の実績結果

項目		単位	2019年度 実績	2023年度 目標	2023年度 実績	2023年度 目標達成率	評価	2022年度 実績	2022年度 対比
二酸化炭素排出量		kg-CO2	2,498,297	2,448,581	2,211,991	110.7%	○	2,227,654	99.3%
電力使用量		kWh	2,885,699	2,828,274	2,394,660	118.1%	○	2,366,914	101.2%
化石燃料 使用量	ガソリン	L	203,409	199,361	198,635	100.4%	○	199,178	99.7%
	軽油	L	204,637	200,565	214,993	93.3%	×	190,980	112.6%
	LPガス※1	m³	15,679	15,367	22,449	68.5%	×	24,850	90.3%
産業廃棄物排出量		t	1,172	1,149	1,182	97.2%	×	1,012	116.8%
上水使用量		m³	17,277	16,933	16,000	105.8%	○	15,959	100.3%
点検整備入庫台数		台	42,537	43,992	42,321	96.2%	×	42,844	98.8%

※1 LPガス使用量を本社一括請求としたため、集計方法変更あり

令和5年度分調整後排出係数

(株)エネット 0.325kg-CO2/kwh

東京電力パワーグリッド(株) 0.376kg-CO2/kwh

オリックス(株) 0.399kg-CO2/kwh

中部電力ミライズ(株) 0.459kg-CO2/kwh

(2) 対象化学物質と使用量

項目	2021年度	2022年度	2023年度
キシレン	221.0	243.0	222.75
トルエン	37.8	37.0	37.2
エチルベンゼン	75.0	82.0	75.96
124トリメチルベンゼン	22.0	24.0	27.3
ヘキサン	11.3	12.0	10.55
合計	367.1	398.0	373.76

7. 環境経営計画に基づいた取組

■主な具体的取組について

お客様と社員に寄り添った取り組みを進めることで、お客様・社員双方のエンゲージメントを高め主体的にお客様と向き合うスタッフを育成し、より効率的で生産性の高い企業活動を目指していく。

「5つの約束」に沿った提案活動を行う

【5つの約束】

- ①お客様をとことん知る
- ②100人100通りの理想のカーライフを提案する
- ③すべてのお客様の声を聞き不安や、不満を解消する
- ④ご来店のためにマツダの独自価値をお伝えし、体感してもらう
- ⑤マツダブランドを好きになってもらう活動を行う

FAN
自らやってくる
心を与える
パフォーマンスを欲している
許容してくれる
応援してくれる
残ってくれる

○お客様に寄り添った取り組み推進

お客様への全数コンタクト、全数接客、お客様の事をとことん知る活動を進め不安や不満を解決しつつ、お客様に合わせたご提案を心がけることで永くお車をご利用いただく方や短いサイクルで最新のお車にお乗り換え頂く方など100人100通りの理想のカーライフの実現をサポートし、ファンを増やしていく。

ファンとの繋がりをより深める為のファンイベント開催を積極推進しマツダ㈱主催のファンイベント「MAZDAFANFESTA」への参加と併せて店舗ごとのファンイベント開催も進めることで、より身近な存在としての店舗運営を目指す。

オンラインで点検予約が可能となる、マツダ独自の会員サービス「CLUBMAZDA」を導入。定期点検の先行予約促進に取り組み、入庫予約の平準化をおこなうことで、お客様の利便性、待ち時間短縮を図ると同時に、スタッフの働き方の改善につなげていく。

車検を正しい手順・時間で実施できているかを競う社内コンテスト「新車検手順コンテスト」を毎年実施毎年参加者をランダムで選出し、高いレベルでの車検品質の統一を目指す。

○社員に寄り添った取り組み推進

CSおよびESを正しく把握する為に、これまでの仕組みを刷新しCXリサーチとEXリサーチを導入。お客様の声はもちろんの事、社員の声もタイムリーに把握する事に努め、エンゲージメントの向上を図ることでやりがいやモチベーションに繋げ、効率化につなげ、時短やエネルギー削減に繋げていく。

新卒採用に加え、新たにリファラル採用制度を導入し、人員の確保、社員総数の維持に繋げている。

働く環境整備の継続実施

- ・2021年度より毎年3店舗をリニューアル修繕
- ・最新の環境対応設備と共に、社員の福利厚生にも配慮（休憩室等）

社員同士のコミュニケーションと学びを目的とする、部門や所属店舗の垣根を超えた各種イベントや研修会を積極開催。多くの社員が参加し、モチベーション向上や会社へのエンゲージメント向上に繋がっている。

健康経営優良法人認定

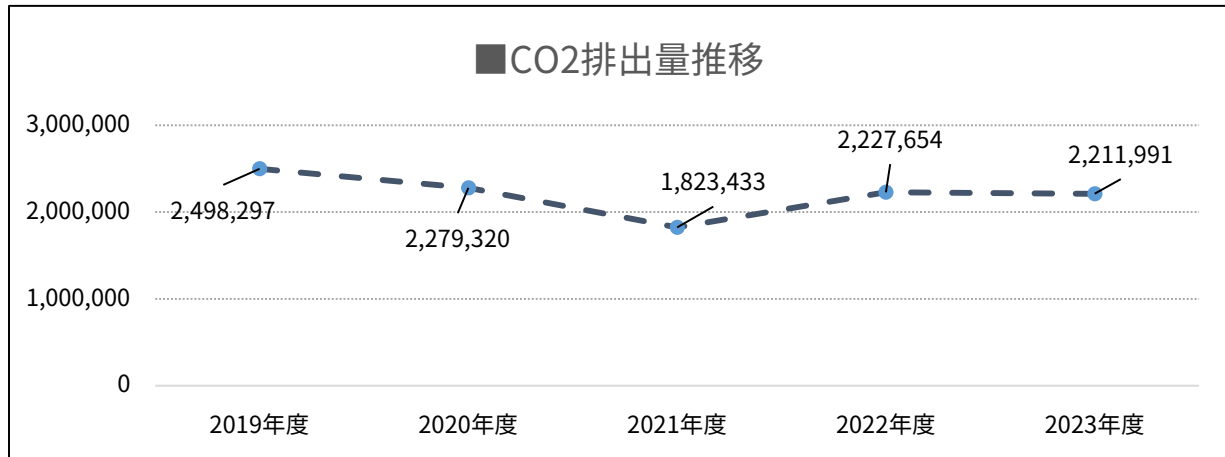
企業継続の根幹となる社員が、健康で働き続けられる環境整備を整備するために、健康維持増進に繋がる取組を進めている。

- ・禁煙デーの実施
- ・人間ドックや婦人科疾患検診の受診率向上
- ・運動イベントの参加率向上

8. 環境経営活動の取組結果と評価、次年度の取組内容

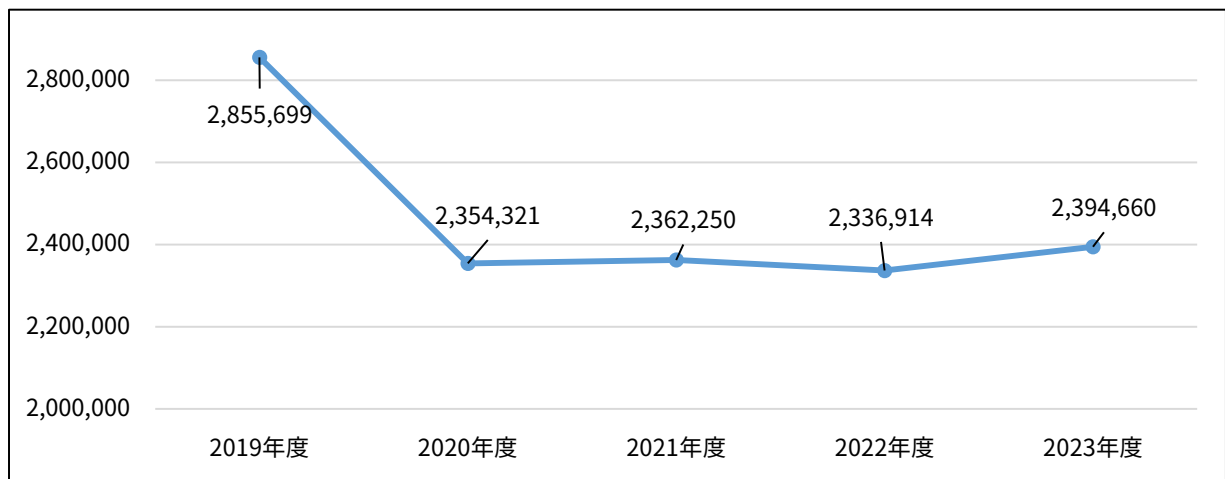
(1) 二酸化炭素排出量の削減

二酸化炭素排出量 目標達成率 110.7% 2022年度比 99.3% 総合評価:○

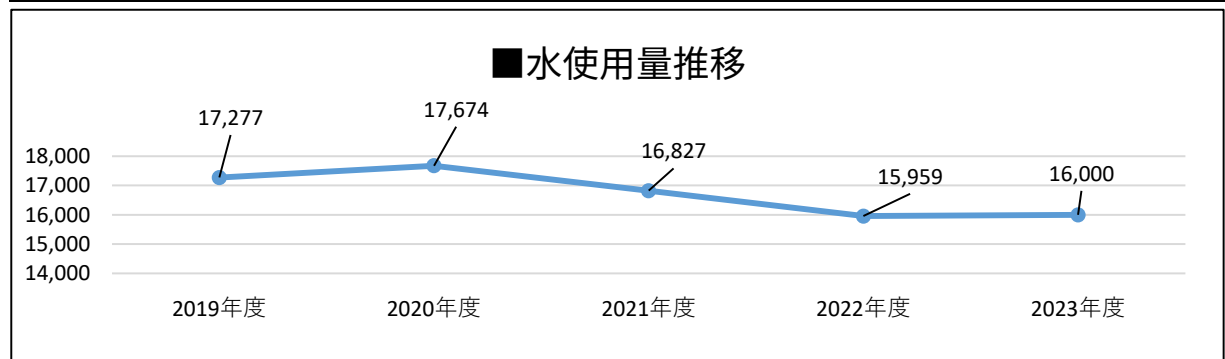


(2) エネルギーコストの削減

電力使用量 目標達成率 118.1% 2022年度比 101.2% 総合評価:○



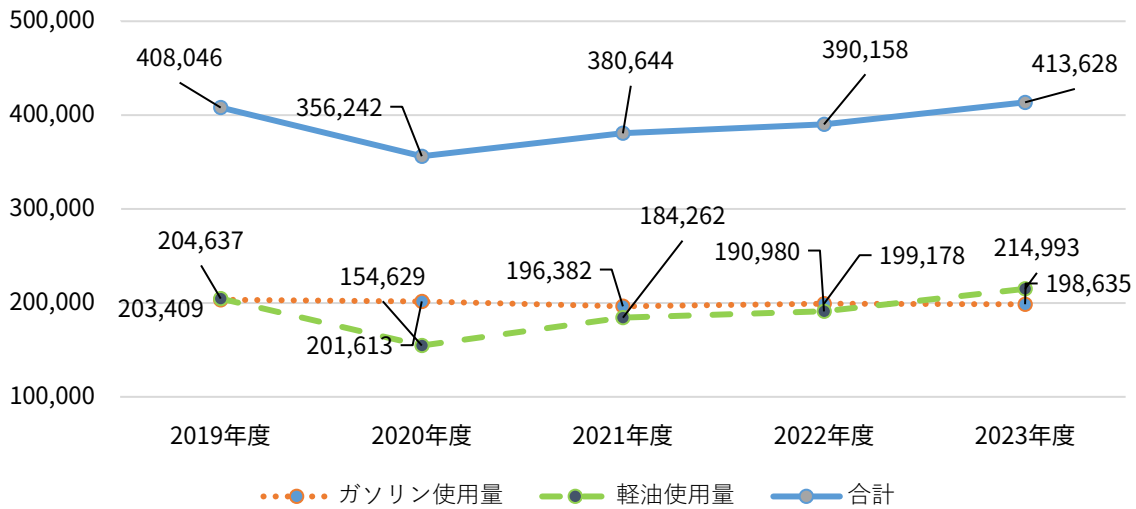
水使用量 目標達成率 105.8% 2022年度比 100.3% 総合評価:○



燃料使用量

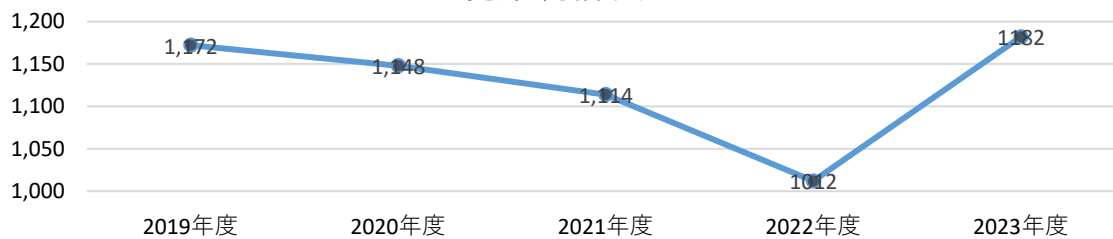
ガソリン	目標達成率	100.4%	2022年度比	99.7%	総合評価:○
軽油	目標達成率	93.3%	2022年度比	112.6%	総合評価:×

燃料使用量推移



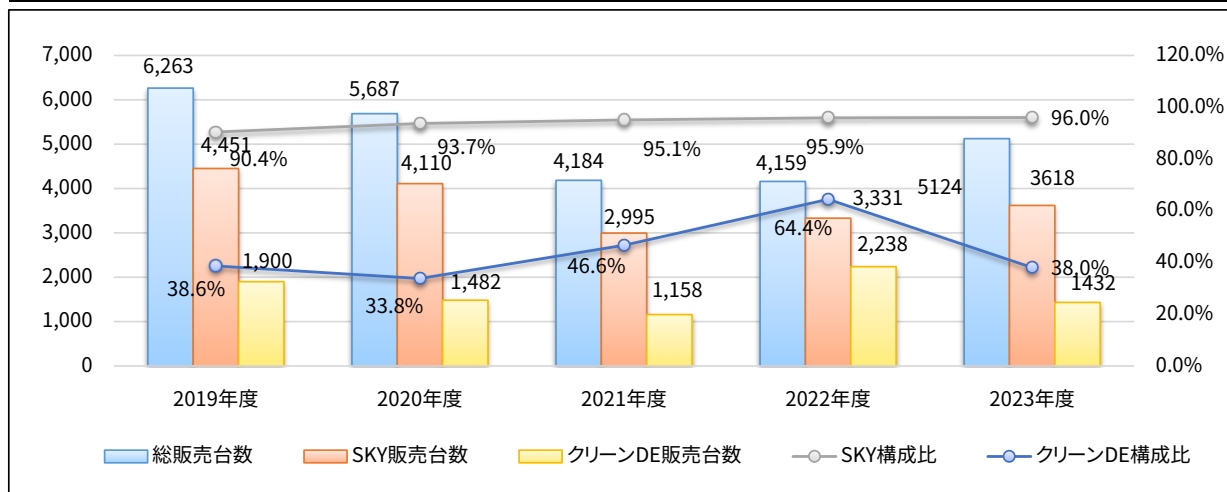
産業廃棄物排出量	目標達成率	97.2%	2022年度比	116.8%	総合評価:×
----------	-------	-------	---------	--------	--------

廃棄物排出量



(6) 製品及びサービスにおける環境配慮

新車販売台数におけるSKY比率



	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
3年以内代替率	0.25%	0.36%	0.30%	0.32%	0.36%
4～5年以内代替率	0.46%	0.44%	0.37%	0.53%	0.62%
満期型クレジット付帯率	39.40%	45.90%	43.50%	42.60%	39.00%

②整備入庫推移	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2019年度比
点検台数(6ヶ月、12ヶ月)	42,537	43,230	44,382	42,844	42,321	99.5%
継続車検台数	19,053	19,139	19,396	19,149	18,034	94.7%
その他一般台数	55,057	51,639	51,379	51,168	49,791	90.4%
外装板金台数	3,190	2,533	2,683	2,607	2,547	79.8%
総入庫台数	119,837	116,541	117,840	115,768	112,693	94.0%

<次年度の取組>

- 引き続き、「5つの約束」に基づく活動を推進し、お客様の理想のカーライフの実現をサポートしていく。
- 100人100通りのご提案のお客様の選択しとして、最新の環境性能、先進安全技術を搭載した車へ早いタイミングで代替頂ける提案や、車両の点検、継続車検整備を的確にサポートし、環境負荷低減、省エネルギーを推進する。
- 整備入庫の先行予約を推進することで、(翌月入庫分を当月70%、翌々月入庫分を当月30%)お客様の利便性と業務効率の改善をはかる。
- お客様ニーズに合わせた、整備パック商品「パックdeメンテ」の継続販売促進することで、お客様の車両に安心、安全、環境性能をお届けするよう努める。
- 働く環境の整備やコミュニケーションや学びの機会の創出、社員の声を聴く活動など、社員に寄り添った取り組みを継続推進する事で、やりがいの醸成やモチベーション向上につなげ、効率化及び生産性向上を目指していく。

(7) その他取り組み結果

■KSビジョン2.0活動

「みんなの笑顔がつながる会社」になるという会社のビジョンを掲げ、その達成のために参加メンバーを全社員から公募。自ら手を挙げていただいたメンバーによる活動を推進。メンバーを中心に、全社員参加のビジョンミーティングの運営をはじめ、様々な取り組みを行っています。

- ・文体活動の活性化(自動車部・各種スポーツ大会参加・応援など)
- ・マツダロジスティクス／ジャパンモビリティショー見学ツアー
- ・マツダ広島本社・工場見学
- ・制度等の見直し提言プロジェクト
- ・好事例共有の仕組み検討プロジェクト



■ファンを増やす活動

来店するお客様すべてにマツダファンになってもらう為に、〇〇さんの顧客という意識を刷新し甲信マツダお客様、店舗のお客様という視点で、全てのお客様さまの対応にあたる。

チーム営業のトライアル導入を開始

担当営業制をなくし、店舗をチームとし全員でお客様の対応にあたる、チーム営業を6店舗で開始しその他店舗も、事例を参考にしながらチーム営業への取り組みを進めています。

チーム営業制を導入する事で、真のお客様視点の向上を目指し、5つの約束、全数コンタクト、全数接客を進め、異動・退職等でお客様が離れてしまう事を防ぐのと同時に、お店のファンを増やしていく。

マルチエンジニアスタッフの活躍

車の整備だけでなく、お客様への見積・提案などの接客対応も実施できるマルチエンジニアとして活躍するスタッフが増えつつある。エンジニアも一体となってお客様に向き合う事で、ファンづくりを進めていく。

■社会貢献活動

全社共通取組み

- ・アースアワー2023参加、メジャーサイン等の消灯等
- ・地域の清掃活動
- ・職業体験、工場見学受入れ
- ・エコキャップの回収 2023年度は20,846個を回収し、NPO法人に寄付した。
年間で65,664KgのCO2を削減したことになる。
- ・アスクール資源循環プラットフォームに参加しており、不要になったクリアホルダー
を全社で回収、再利用資源として提供している。
2023年度 約18kg回収

・法人・職域営業グループ

能登半島地震被災地支援への車両(CX-5 AWDディーゼル2台)提供

・長野本店ユーカーランド

長野マラソン開催時、営業を中止し店舗前の沿道を走るランナーへ、スタッフ全員で応援した。

・佐久南店

佐久市強歩大会開催時、エイドポイントを設置し、飲料配布と応援を実施した。

9.環境関連法規等の遵守状況及び違反、訴訟の有無

(1). 環境関連法規等の遵守状況の評価

環境関連法規		要求事項	評価結果
環境基本	環境基本法	事業者はその事業活動を行うに当たって生じる公害を防止し、または自然環境を適切に保全するために必要な措置を講ずる責任を有する	○
	国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（グリーン購入法）	事業者及び国民は、物品を購入し、若しくは借り受け、または役務の提供を受ける場合には、できる限り環境物品等を選択するよう努めるものとする	○
地球環境（温対法）	地球温暖化対策の推進に関する法律	地球温暖化対策の推進に関する法律（温対法）に基づき温室効果ガスを多量に排出する者に、自らの排出量を算定し国へ報告する義務を有する	○
省エネ法	エネルギーの使用の合理化に関する法律	毎月のエネルギー使用量把握	○
大気保全	大気汚染防止法	環境省令で定めるところにより、塗装・乾燥施設など、揮発性有機化合物排出施設設置届（既設施設は使用届）が必要	○
水質保全	水質汚濁防止法	特定施設を設置し公共用水域に水を排出する者は、都道府県知事に特定施設の届出、変更届、廃止届等が必要	○
	下水道法	浄化槽を設置しようとする者は、都道府県知事を経由して特定行政庁に届出なければならない	○
	浄化槽法	浄化槽を設置しようとする者は、市町村長に届出が必要	○
振動／騒音	振動規制法／騒音規制法	特定施設を設置しようとする者は、市町村長に届出が必要	○
悪臭	悪臭防止法	規制地域内に事業場を設置している者は、当該規制地域についての規制基準を遵守しなければならない	○
廃棄物・リサイクル	廃棄物処理法	委託基準の遵守、マニフェストの適正管理 特別管理産業廃棄物（揮発性廃油、廃酸、廃アルカリ等）の取扱 事業場は、事業場ごとの「特別管理産業廃棄物管理責任者」の選任義務	○
	自動車リサイクル法	事業者登録（取引事業者又はフロン類回収事業者）、変更届、廃止届が必要 事業者としての見易い箇所への「標識の掲示義務」有り	○
化学物質	PRTR法	第一種指定科学物質等取扱事業者は排出量及び移動量を把握し、前年度の第一種指定化学物質の排出量及び移動量に関し届出なければならない	○
少量危険物	消防法	少量危険物の取扱と届出	○
労働環境	労働安全衛生法	有機溶剤取扱作業場の作業環境、安全衛生管理体制の確立	○
フロン排出抑制	フロン排出抑制法	簡易点検、定期点検の実施と記録の保管	○

(2). 違反・訴訟の有無

環境関連法規の違反はなく、関係機関からの指摘も受けておりません。

また、同様に訴訟等についても、1件もありませんでした。

10.代表者による全体評価と見直しの結果

活動期間	2023年4月1日～2024年3月31日
------	----------------------

評価者	代表取締役社長 的場 智英	実施日	2023年7月1日
-----	---------------	-----	-----------

全体評価・コメント(環境経営システムへの有効性・環境への取組の適切性等)

- ・一人ひとりが環境への取組みに高い関心を持ち、環境に配慮した活動が当たり前に行える会社にする。
その為に各部門と店舗が一体となり、環境活動に率先して取組み、事務局は活動を支援していく。
- ・すべてのお客様に5つの約束を実践することで、マツダに対する意向を高め、より最新の安全、環境性能を有するお車に、出来るだけ早いタイミングで乗り換えていただく取組を推進し、お客様と共に、会社全体での二酸化炭素排出削減に貢献する活動を継続しておこなう。
- ・チームワークをベースに、一人一人が挑戦と成長を続けることで、効率化とビジネス成果改善の両立を図る。

代 表 者 に よ る 全 体 評 価 ・ 見 直 し	見直し項目		変更の必要性	変更「有」の場合の指示事項
	1	環境方針	☐ 有 ☒ 無	
	2	環境目標	☐ 有 ☒ 無	
	3	環境活動計画・取組項目	☐ 有 ☒ 無	
	4	環境に関する組織	☐ 有 ☒ 無	店舗、部門ごとに主体性を引き出す 支援型マネジメントを継続して行うこと
	5	その他のシステム要素	☐ 有 ☒ 無	オンラインの活用を推進し 効率化を進めること
	6	その他(外部への対応)	☐ 有 ☒ 無	本業による社会貢献活動を積極的に行うこと